



2022年5月13日

各位

会社名 21LADY株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山田成徳
 (コード番号: 3346 名証ネクスト市場)
 問合せ先 経営管理担当
 マネージング・ディレクター 辻井彰彦
 電話番号 03 (6279) 4887

営業外収益、特別損失の計上及び通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第4四半期連結会計期間において営業外収益、特別損失を計上するとともに、2021年11月8日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想と本日公表の当期実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の内容

当社は長期貸付金に対して貸倒引当金を計上しておりますが、2022年3月期第4四半期連結会計期間において将来の回収の可能性を検討した結果、貸倒引当金戻入額10,958千円を計上いたしました。

2. 特別損失の内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社グループが保有している固定資産について、現在の事業環境及び将来の回収の可能性を検討した結果、2022年3月期第4四半期連結会計期間において減損損失63,709千円を特別損失に計上いたしました。

3. 2022年3月期通期連結業績予想と実績値との差異 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当期 純利益
前回発表予想(A) (2021年11月8日発表)	百万円 2,245	百万円 △60	百万円 △33	百万円 △59	円 銭 △7.14
今回実績(B)	2,187	△112	△49	△128	△13.44
増減額(B-A)	△57	△52	△16	△69	
増減率(%)	△2.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	1,966	△166	△141	△202	△24.40

4. 差異の理由

当第4四半期連結会計期間においては、スイーツ事業における直営店の売上高はほぼ計画通り推移しましたが、ヒロタのホールセール部門において売上高が堅調に伸長したものの計画には及ばずまた、原材料費の高騰及び動力光熱費等の値上げにより、営業利益及び経常利益は予想数値を下回りました。特別損益においては上記2のとおり特別損失等を計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は予想数値を下回りました。

以上